

南国市「のぞポ」9 月で 3 周年 健康づくりと地域参加を日常に

9 月の認知症月間に 地域で暮らし続ける取り組みを紹介
9 月 25 日で開始から 3 年 地域の活動情報や見守り施策も紹介

株式会社ベスプラ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：遠山陽介）は、9 月の認知症月間に合わせ、高知県南国市の「のぞポ」と、地域での生活を支える市の取り組みを紹介します。当社が「脳にいいアプリ」と健康ポイントサービスを提供する「のぞポ」は、2023 年 9 月 25 日の開始から今月で 3 周年を迎えます。毎日の健康づくりと地域活動への参加を応援する仕組みに、改めて焦点を当てます。



■ 65 歳以上の市民が、自分のペースで健康づくり

「のぞポ」の対象は、スマートフォンを持つ 65 歳以上の南国市民です。歩行・食事・脳トレの健康活動に加え、市指定のイベントやボランティアへの参加などでもポイントが貯まります。獲得したポイントは PayPay ポイントへ交換できます。健康づくりを買い物にも役立つ楽しみに変え、自分の望む生活を続けるための自己管理を応援する介護予防事業です。参加にはアプリからの申し込みと市の承認が必要です。[1]

■ 地域の「行ける場所」「頼れる先」を探す

南国市は、地域資源情報一覧「Ayamu」で、高齢者が在宅生活を続けるために利用できるサービスを紹介しています。介護保険施設や医療機関に加え、介護予防教室、老人クラブ、趣味活動、集いの場、相談窓口などを種類別に確認できます。日々の健康づくりを始めたい人も、地域で参加できる活動や生活上の相談先を探す手がかりにできます。各活動の開催状況や利用条件は、掲載先への確認が案内されています。[3]

■ 道に迷った時、地域の人が支援につなぐ

市が行う認知症高齢者等見守りシール交付事業では、衣服や持ち物などに貼った QR コードから、対応方法と南国警察署などの連絡先を確認できます。シールを着けた人が道に迷っていると思われる時、発見者が南国市地域包括支援センターや南国警察署へ連絡するための仕組みです。市は、正面から穏やかに声をかけ、相手の言葉に耳を傾けることも案内しています。地域で暮らす本人を、周囲が支える具体的な行動を示しています。[4]

■ 認知症月間を、身近な取り組みを知る機会に

9 月は認知症への関心と理解を深める認知症月間です。健康づくりを日常に取り入れることと、認知症のある人や家族が必要な支援につながることを、地域の暮らしという視点で紹介します。「のぞポ」は当社のアプリ・健康ポイントサービスを活用した南国市の事業であり、地域資源情報の整備や見守りシールは、市がそれぞれ進める施策です。当社は健康づくりと社会参加を支える仕組みの提供を通じて、市民の生活を応援します。[1][2][3][4][5]

■ 報道関係者の皆さまへ

ベスプラでは、アプリの操作や健康ポイントの仕組みをご説明します。利用者や自治体担当者への取材、地域活動の撮影については、ご希望を伺い、関係者と実施可否を調整します。

◆ 会社概要

企業名：株式会社ベスプラ 代表取締役：遠山 陽介
所在地：東京都渋谷区神宮前 5 丁目 18-10 エクサスペース 3C
事業内容：脳にいいアプリ、自治体向け健康ポイントサービス等
URL：<https://bspr.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ベスプラ 担当：遠山 陽介
E-mail：info@bspr.co.jp

■ 参考資料

- [1] 南国市 | スマホで楽しい健康習慣 のぞポ！
 - [2] ベスプラ | 南国市にて脳にいいアプリを活用した「のぞポ」が開始
 - [3] 南国市 | Ayamu～南国市の地域資源情報一覧について～
 - [4] 南国市 | 認知症高齢者等見守りシールを貼っている高齢者を発見・保護された場合の対応
 - [5] 厚生労働省 | 認知症の日・認知症月間（令和 8 年度）
- 公表資料の確認日：2026 年 9 月 9 日